

めい
なん

第385号(部内資料)

発行
医療法人 名南会
名古屋市南区豊田
五丁目15番18号発行責任者
西本 義弘
☎052-692-2388年間購読料600円
一部 50円医療法人
名南会

第41回定時総会 報告特集号

名南会創立40周年記念総会成功に向けた社員の皆様のご協力
ありがとうございました。

名南会は

1. 「地域に根ざし、社会の中で困難な立場にいる人びとに寄り添い、共感し合い、困難な人たちの最後のよりどころとして、これからも自ら無差別・平等の医療・介護を実践します。
2. 平和・医療・人権を守るための政治の役割を重視し、いのちの平等を実現するために政治に働きかけること、地域での共同組織づくりをすすめます。
3. 救急からリハビリ、療養、在宅までの法人内ネットワークを生かし、他施設とも連携をはかりながら、人権を重視した共同の営み、共同組織との結びつきを重視し、保険予防、医療・介護・まちづくりの総合的課題をすすめます。

第41回定時総会
記念講演『民医連の輝かしい50年の歴史・
これからますます輝く民医連の医療と運動』

肥田 泰氏 (全日本民医連会長)

～これまでの民医連をふりかえり、
これからの民医連がどのような役割を果たしていくか～

肥田家は、先祖は明智光秀の家臣として江戸時代には裕福な庄屋で、現在の自分の生活習慣病はその時代から受け継がれたこと。父は、広島で原爆投下を目の当たりにし、被爆者の診療にあたり、発足当時の民医連、無産者診療所の運動に参加した。その父の姿に影響を受け、また自らが大学当時「生活保護の患者は受け付けない」大学病院に、今の世の中はおかしい、こんな社会は変えなければと学生運動に参加、大学に身を置かず、地域医療をやるために民医連に行くことを決意。

埼玉でセンター病院の院長に。300床以上の規模になると、自分ひとりで頑張ってもどうにもならず、全職員の力量アップのために、特に中間管理職の力量アップに力を注ぐしかないこと、公的医療を担い、社会的常識から遅れないために、第三者評価を積極的に受けることの重要性を認識。

肥田家の歴史から、自らが地域医療を決意するまで社会変革と地域医療のために民医連に

戦前・戦後から民医連の
果たしてきた役割

災害支援で、地域に出かけていく活動はその当時民医連のみ、ぜひ自分たちの地域にも民医連が欲しいということで、59年伊勢湾台風の医療救援活動の中から愛知民医連ができた。

(歴史的には)

●ロシアなどから小児生ワクチン緊急輸入の運動(効果があると学術的に証明、婦人運動との共同)

●憲法25条に違反、あまりに低い生活保護費、「朝日訴訟」人間裁判を支援

●水俣病とのたたかい(有機水銀による病気の証明、実際の水俣病患者の治療にも尽力)

●伊勢湾台風、全国各地から救援、愛知民医連設立のきっかけに

●過労死裁判

●阪神大震災のときの救援活動

(今日的には)

●医療事故防止(転倒・転落・注射事故等)の取り組み、患者さんの人権にかかわる問題、医療倫理の問題など社会的に注目されている問題へ積極的に対応してきた。

●特に、現在、医療事故を防ぐために第三者機関の設置を国に強く要望している。

●私たちの医療活動は

●憲法25条があるからできる、また平和であるから25条に基づいた医療活動ができる

●憲法問題は、民医連にとって今日、第一義的課題として重視し、各職場に9条の会をつくろうと呼びかけている。

●医療の中に差別を持ち込むべきではないと、今後とも

●室料差額は取らない立場

●日本国民のもっとも困難な

人々の立場にたって医療介護を実践することに民医連の存在意義。それで困難があるなら、国や自治体への運動を共同組織とともに。

マスコミも民医連に注目。
社会の実態を明らかにし
変革の力に

全日本民医連が行った、全国高齢者実態調査が大きな反響。マスコミは、小泉構造改革後の格差・貧困の拡大に着目しているが、有効なデータが集まらない。そこで、今日社会の実態を正確に把握し、このような調査ができるのは民医連ぐらいしかない大きな関心を示している。ワーキングプア、国保の問題、孤独死など、全日本民医連は今日、国民の厳しい実態を数字でも明らかにし、国民の実態を社会に知らせていく大きな役割を担っている。

医療法人名南会創立

40周年記念祝賀会

日時：2007年9月9日(日) 午後3時～5時

場所：ホテルグランコート名古屋(名古屋市中区金山町)

名南会社員、名南会協同基金協力者、名南・中川健康友の会員、友の会の世話人さん、ボランティアさん、職員の方で、ご出席をお願いする方は、後日別途ご案内をさせていただきます。



名南会ホームページ

URL <http://www.meinan.or.jp/>

医療法人名南会 第41回定時総会

2007年5月20日(日)

肥田泰・全日本民医連会長による記念講演後、午後2時30分～4時30分まで名古屋国際会議場2号館展示室にて開催されました。



来賓あいさつをいただいた
江上博之 市会議員
(中川区)



開会あいさつを行う
田淵哲雄 理事長



出席社員総数は、1,803名(出席1,111名、委任状出席1,692名)。出席社員の中から、菱川一巳、水野健二・両名南会常任理事の2名を議長に選任し議事がすめられました。

まず最初に、田淵理事長が開会あいさつを行いました。

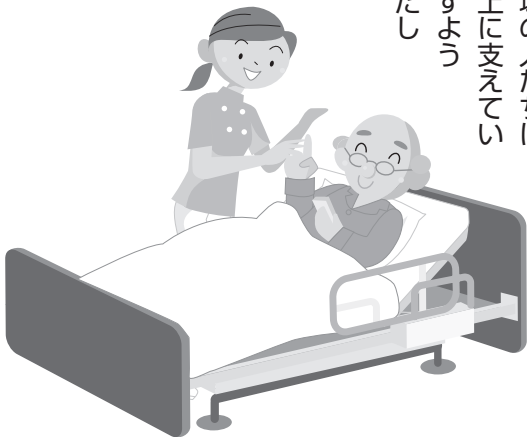
(田淵理事長あいさつ要旨)

医療法人名南会は1967年3月、五条町の地に名南外科診療所として産声を上げて以後、40年以上にわたり、社員や地域の皆様、労働組合、職員の頑張りなどに支えられ、名南病院、名南ふれあい病院、老人保健施設、診療所、在宅など大きく活動の幅を広げさせていただいたことに、深く感謝いたします。自民党・公明党は国民投票法を成立させ憲法改悪の道をつきすすんでいること、75歳以上のお年寄りから年金の半分までは国民健康や介護保険料として徴収すること、働く人の約3分の1が年収300万以下で、その3分の1が病気になることも病院に行かないと答えていること、などの情勢から、平和を守ること、病院への敷居を高くする厚生労働省の施策の誤りを正すことは大切です。

リハビリテーション180日越えの制限や介護保険要支援者の車いすやベットのとりあげ、療養病床の削減などのいずれもが、現場の声や多くの国民の意見で、国(厚労省)も方針の転換をせざるをえないなど具体的に政治を動かしてきています。また本日「若者に仕事をよこせ」と、東京では青年大集会が行われており、自分たちの生活を守るため多くの青年がたちあがっています。

名南会は、「今まで室料差額とったことがないし、これからも決まさせていただきます」ということが地域との約束ですと、あらためて宣言をしました。

医療の危機、日ごろの名南会の活動をこれからも地域のみなさんに今まで以上に支えていただきたいと思います。



～田淵理事長のあいさつの最後に～

職員の永年勤続表彰(35年勤続2名を含む、33名)について、総会参加者に別紙名簿にて紹介し、職員の頑張りたたえ、後日職場にて顕彰表彰する旨報告がありました。

その後、議案の審議に入り、昨年度の活動報告と2007年度の事業計画・活動方針、昨年度決算及び2007年度基本予算、監査報告、役員改選など第1号議案から第10号議案の全てが承認可決されました。また、総会の場では、医療法人名南会第41回定時総会・特別決議「国民主権を蹂躪し、海外で戦争をする国づくり」「改憲手続き法(国民投票法)」の採決強行を断固糾弾し、平和と民主主義、憲法9条を守る共同の闘いを強めよう。」が提案され決議されました。

以下、承認、可決された提案の内容と総会での発言者の内容を報告します。

第2号議案

2006年度活動報告及び

2007年度活動方針承認の件

第3号議案

医療法人名南会

2007年度事業計画承認の件



西本義弘
(新)専務理事

名南会は、この1年間、職員・地域が一体となって幅広い取り組みを行い、各事業所でも医療・介護活動の前進がありました。名南病院では糖尿病をはじめ生活習慣病の療養指導の強化、連携室の設置、中川診療所ではエコーの更新、名南診療所は在宅療養支援診療所、『名南ふれあい病院・かたらいの里・きずな』ではもの忘れ外来の開設、病院機能評価受審、「知っとくパンフ」を活用した相談活動

の充実などが特筆すべき点となっています。

また、「医療法人名南会の今後の立場と課題及び総合計画づくり」の検討が始まりました。

全日本民医連第37回総会方針では、今後の方

向として、①地域連携

の重視、地域分析による役割の明確化、②得意分野や特徴の打ち出し、③共同組織参加を活かした職員育成、④医師集団の技術獲得とモチベーションの維持を挙げています。いま、

一つの法人、一つの病院で、地域の医療・介護のすべてを担うことはできません。しかし、名南会は名南病院・名南ふれあい病院・名南診療所・中川診療所・老健かたらいの里・在宅総合センターきずながあります。それぞれの事業所の特徴を打ち出し、事業所間の連携を強め、行政や他の病院、介護事業所との連携をすすめるならば、医療・介護・福祉の切れ目のない地域連携の要となることが可能です。

この1年間、中京病院・中部労災病院・大同病院・掖済会病院などとの連携が大きく前進しました。医師の臨床研修でも、中京病院をはじめ地域の病院と連携した研修制度を準備しています。掖済会病院の研修医の受け入れも老健かたらいの里で始まります。法人の持つ力をもっと積極的に高め、集めることが重要だと考えています。名南病院の深夜救急の受け入れ休止の一方で、名南診療所では在宅患者さんの24時間対応など、システムの

変更も行っています。

名南会の6つの重点課題方針と各院所の具体的目標について議案で提案しています。さらに具体化をはかり、一つひとつ前進していきたいと考えています。医療・介護の事業は複雑で困難な転換点に立っていますが、私たちは名南会の40年の歴史と全日本民医連の方針があります。職員の成長を重視し、地域の多くのみなさんと力をあわせるならば、前進も可能です。引き続き、社員の皆様のご意見を伺い、安心して住み続けられるまちづくりに法人全体で力を発揮していきたいと考えています。



名南健康 友の会

中川健康 友の会

総会



木目込人形
(吉岡さん作)

共同組織

(社員・協同基金・友の会)

のページ



友の会の仲間を大きく増やして、 『安心して住み続けられるまち』づくりをすすめましょう！

4月21日(土)午後、名南・中川両健康友の会の2007年度総会が開催されました。

名南健康友の会は、『交流センター道徳に約80名が参加。』名南会・民医連を語り、田淵理事長に記念講演をお願いしました。中川健康友の会は、『大名古屋温泉』を会場に行き、鬼頭さん(五条北)の総会に、



班活動報告
鬼頭さん
(五条北)

名南・中川、 両友の会総会開催



司会進行は、
笹山副会長



開場準備中にも次々に会員さんが来場



名南健康友の会
第36回総会

事務局瀬戸主任から、2006年度の活動報告・決算報告および2007年度の取り組みについて一括して報告・提案。全会一致で採択されました。(2007年度の取り組みについては別掲)

2006年度に規約改正を行って一年が経過しました。年間計画にしたが

2006年度の 活動のまとめ



班活動報告
木村さん
(豊)

約50名が参加。それぞれに2006年度の活動のまとめと決算報告、そして2007年度の活動方針および予算案と役員体制が話しあわれ、満場一致で採択され新年度の友の会活動がスタートを切りました。



開会あいさつ、
水野会長



約80名の会員さんが参加



閉会後は、恒例、お楽しみ抽選会

2007年度の活動では、前年度の活動内容と結果を踏まえて、仲間増やしは、実質一年で1000人。班会や『元気』などは、おおむね一割増、という目標で取り組むこととなりました。同時に、継続して取り組む諸課題、職員紹介や、全ての友



班活動報告
小林さん
(豊田)

2007年度の 活動方針のポイント

一方、仲間増やしや名南会への資金参加の課題で多くのみなさんの参加がありました。会員さんそれぞれの事情による退会や資金の解約もあり、全体としては、目標にはいたりませんでした。



班活動報告
尾鍋副会長

功させ、また会員さんの「困りごと」をいち早く捉え、名南会や地域の諸団体との協力で解決する、文字通り、『たよりにされる友の会』という役割も一定度はたして



菱川名南会組織
委員長あいさつ



絵手紙 (名南診療所のみなさん)



ちぎり絵教室にて
(名南病院のみなさん)
新聞紙のカラーのところに
使ってブローチを作りました

作品コーナー

会場にみなさんの作品が多数展示されました

の会員の資金参加をめざす運動(協同基金)、班会、友の会の年間行事、地域の諸団体と共催する行事への参加なども確認されました。大勢の会員さんが、一人、二人に声をかける取り組みの継続が、年々友の会を大きくしていく力です。



理事長 田淵先生の記念講演『名南会・民医連を語る』

～名南健康友の会 2007年度の活動のすすめ方～

1) 地域で「健診と健康づくり」の運動をすすめます

- *健康診断は、共同組織全世帯にもれない利用呼びかけをおこないます。
- *かかりやすい院所づくりのため、地域のみなさんの声を各院所の運営に役立てていきます。
- *「友の会学習会」(春・秋)、班会学習会などを重視して取り組みます。
- *「保健学校」の開校にむけて、引き続き、名南会との話し合いを続けます。
- *職員の確保は、友の会にとっても重要課題です。医学生・看護学生の紹介活動を続けます。

2) 名南会と共に「安心して住み続けられる町づくり」をすすめます

- *地域の民主的団体とも協力して「困り事・心配事相談窓口」の役割をになっ

3) 「名南会協同基金」や「出資金・増資金」への参加・協力をすすめます

- *名南会の経営基盤は、地域のみなさんから託された資金です。
- *特に、「名南会協同基金」への参加をすべての会員に一層広くよびかけます。

4) いのちと暮らし、社会保障を守る運動にとりくみます

- *憲法9条を守る活動や、医療・介護・福祉の改善と充実を求める活動、消費税率引き上げ反対など、知恵を出し合い、だれもが参加できる取り組みをすすめていきます。

5) 友の会の会員ふやして健康づくりをすすめます

- *将来2万人の友の会をめざして、今年度は、1,000人の会員ふやしに挑戦します。(4月1日現在、4,357人⇒5,357人へ)
- *班会は、50班での活動を目指します。
- *『めいなん』新聞の内容充実をはかります。(共同組織のページ)
- *世話人さんは、300名を目標とします。また担当部数の偏りをただし、世話人さんと会員さんとお互い顔見知りになれる世話人さん活動をめざします。
- *『いつでも元気』の班会での活用、販売所増やし、300部目標とします。
- *各種の「教室」「コーナー」には必要な援助をし、新企画も募集します。
- *『道徳・明治盆踊り大会』・『みずほ夏まつり』・『いきいきフェスティバル』などには、今年度も地域の諸団体と協力して取り組みます。
- *『春の行楽』『秋の行楽』『新年初笑いツアー』も、企画の内容を練って実施します。
- *『第9回共同組織活動交流集会(長野)』に参加します。(目標10人)
- *名南会の『創立40周年記念事業』に協力・参加していきます。



大森先生の健康体操！

友の会、春の取り組みの柱の一つは、『健康懇談会』です。これまでに4地域で開催。会場の近くにお住まいの会員さんが多数参加し、またどの会場でも『配られたビラを見てきました。血流チェックしてもらえますか？』という地域の方々も参加していただき、さっそく入会という経験も生まれています。二回目に瑞穂の『生涯教育センター』で開催した懇談会では、会場の都合で、一番大きな60人収容の部屋しか借りることができず、担当の役員さんも『これじゃあんまり広すぎね。』と困り気味。ところが当日になると、会員さんはもちろん、会員さん知らない地域のみなさんがどんどん来場して、約50名で開催することができました。これには、役員さんもびっくり。『大きい部屋でよかった！』

『大きい部屋でよかった！』

健康体操、血流チェック、医師による学習会など多彩な内容で開催中！

各地で好評、『健康懇談会』



辻村先生の学習会
『糖尿病などの生活習慣病の予防について』

最初に開催した『伝馬コミセン』では、名南診療所の大森所長が参加。自分でできる、道具もいらない、いつでもできる、健康づくり体操をみんなでおぼえました。また、研修から帰任した辻村医師、高木医師も懇談会に講師として参加して、それぞれ研修の報告もかねて、『糖尿病の予防と健康づくり』『内視鏡検査って？』のテーマでお話していただきました。

医師も技師も参加して

『見て、やっておぼえてくださいね。』



『血流チェック』が大評判

器具の持ち出しが可能な時間帯に実施した懇談会では、検査技師が『血圧脈波計』（採血は不要。指先の細い血管の中を流れる血球の速さを光で測定します。もちろん痛みありません。）を持参して、来場者の血流を測定。それぞれの結果も説明しています。結果をもらった参加者のみなさんは、『私は、まだ40歳台！』『わたしは、それなり』『私は、

健診を勧められたわ」結果を見せ合って関心を高めていただけようです。



『血流測定』
両手の指（1本づつ）で測定器に触れるだけ

第4回

開催のお知らせ

ふれあい健康フェスタ

日程 6月23日（土）午後2時～4時

会場 名南ふれあい病院 1階ロビー、リハビリ室

主な催し

- これで安心！プロが教えるお口のお手入れ
- ふれあい合唱団演奏
- 豪華(?) 賞品を用意！お楽しみ抽選会
- 『掘り出し物はお早めに！』日用品バザー
- 健康チェックコーナー（血圧・体脂肪など）
- お抹茶、ドリップ珈琲をどうぞ。喫茶コーナー
- お値打ち、安心、産直野菜コーナー



行事予定 2007年 6・7月

日 曜	開始時間	班 名 等	内 容 等	会 場
6月16日 土	14:00～	ヨガ班	ヨガ教室	中川診デイケア室
17日 日	12:00～	瑞穂平郷地域	健康交流会	喫茶あみん
20日 水	10:00～	コスモス班	『いつでも元気』学習会	呼続事務所
21日 木	13:00～	中川診療所絵手紙教室	絵手紙教室	中川診療所友の会室
22日 金	14:00～	さくら班	『いつでも元気』学習会	さくらコミセン
// 日	14:00～	かの里班	『いつでも元気』学習会	尾上様宅
23日 土	10:00～	ティータイム班	お茶と『元気』学習会	中川診デイケア室
// 日	14:00～	第4回 ふれあい健康フェスタ		
// 日	14:00～	ヨガ班	ヨガ教室	名南ふれあい病院
25日 // 月	19:00～	北原・ひよこ合同班会	『いつでも元気』学習会	中川診デイケア室
26日 // 火	13:00～	名南診療所絵手紙教室	絵手紙教室	湯浅様宅
// 日	13:30～	名南病院ちぎり絵教室	ちぎり絵教室	名南診待合室
30日 土	14:00～	ヨガ班	ヨガ教室	名南病院多目的室
7月2日 月	15:00～	薄の水班	健康チェック・学習会	中川診デイケア室
3日 火	14:00～	内田橋西班	『いつでも元気』学習会	佐藤様宅
// 日	19:00～	御剣班	『いつでも元気』学習会	名南診待合室
5日 // 木	14:00～	観音・五条・三条合同班	『いつでも元気』学習会	水谷様宅
7日 土	13:00～	ひまわり班	『いつでも元気』学習会	名南病院多目的室
// 日	14:00～	ヨガ班	ヨガ教室	鎌田様宅
9日 // 月	14:00～	堤班	絵手紙教室	中川診デイケア室
10日 火	13:00～	名南診療所絵手紙教室	絵手紙教室	名南病院多目的室
12日 木	14:00～	新栄木場・東楽地合同班	『いつでも元気』学習会	名南診待合室
14日 土	14:00～	豊北・診療所合同班会	『いつでも元気』学習会	名南病院多目的室
17日 火	19:00～	平郷班	『いつでも元気』学習会	伝馬コミセン
18日 水	10:00～	コスモス班	『いつでも元気』学習会	喫茶あみん
19日 木	13:00～	中川診療所絵手紙教室	絵手紙教室	呼続事務所
20日 金	13:30～	名南診療所趣味の会	内容は未定	中川診療所友の会室
21日 土	14:00～	ヨガ班	ヨガ教室	名南診療所2階
// 日		第35回 瑞穂夏まつり		
				中川診デイケア室
				瑞穂南児童公園

第4号議案
2006年度決算関係及び
財務報告並びに基本財産確認の件
第5号議案
2007年度
基本予算承認の件



本田俊之
総務部長

(2006年度決算の概要)

今期の経営の特徴は、収入が1億4100万円減少したこと。その原因は、第1に診療報酬(医薬品薬価を含め)の過去最大の引き下げにあり、これだけで年間換算で約1億1000万円の引き下げとなりました。また、患者負担の軽減等から積極的にジェネリック医薬品への変更をすすめ、それによる収入減が約3000万円、合計では今期の結果的な収入減と同額です。この収入減に対して、各院所では、患者様や利用者様の立場に立った、それぞれの特徴を生かした医療活動の強化の取り組みをすすめました。特に中川診療所では、超音波検査機器(エコー)を買い替え、診療内容の充実や検診の取り組みを強化し、患者数を増加させ、収入も増やしました。経営努力として、薬価引き下げ交渉、医療材料の管理強化、仕入れ価格の引き下げ、経費節減、時間外労働など人件費削減などの努力を行いました。格差社会を背景に、患者・利用者負担金が未収となるケースが増加しています。発生から年数が経過し、回収努力をするも回収の見込みのない未収金約3400万円を回収不能として貸倒損失として処分しました。

第40回臨時総会の決定に基づき、旧名南ふれあい病院南館の土地・建物の売買契約を行い、決算に反映されています。

ます。帳簿価格と売却価格に差があるため、売却損が発生しました。これにより、税金の支払いが免除され、経営目標(利益、減価償却額、繰延資産償却費の合計額で4億円以上)に対しては、2000万円の超過となりました。経常利益は約1億9200万円ですが、固定資産の売却損・除却損2億7000万円の結果、税引き前利益は7810万円の欠損、法人税均等割課税を加え、当期の欠損額は7879万円となりました。

出資金は、2313万円の減資、1684万円の増資で629万円の減資でした。死亡退社による出資金の返還が大半で、今後も社員高齢化による減資が増加すると考えられます。地域の中で取り組みがすすみ、名南会協同基金は1400万円増加しました。

(基本財産の確認について)
医療・介護等定款で定めた事業に直接使用していない、名古屋市南区五条町2-1-166の土地及び建物については、基本財産としない一般財産に変更しました。

(2007年度基本予算)
前年度より、研修から帰任するなど医師体制が強化されています。また、リハビリ関係職員も増えていきます。これらの条件を生かし、収入の増加を計画します。地域の健康要求と予防活動を重視する視点から検診、保険予防活動はいつそう強化することとして、増収を目指します。社員・友の会の皆様の検診をはじめとした院所の利用をすすめ、地域組織活動も強化します。支出は、人件費、医療材料費の管理をいつそう強めます。

2007年度は、税引き後利益、減価償却費、繰延資産償却費の合計額で3億3000万円以上を目標とします。民医連として、より多くの地域の皆様から支えられる構造を強めます。出資金、名南会協同基金で1億円の増加を目標とします。

第9号議案 役員改選の件

本総会では、①今後の理事会改革、②名誉副理事長推薦、③今後2年を任期とする理事の提案があり、承認されました。副理事長に新たに菱川一巳氏(非常勤)、早川純午医師(名南ふれあい病院副院長)、そして専務理事に、新たに西本義弘氏(前名南ふれあい病院事務長)が選任されました。



提案する
立川美代治 副理事長

理事長	田淵 哲雄	医師(常勤)	名南ふれあい病院長	(再)
副理事長	三宅 隆史	医師(常勤)	名南病院長	(再)
副理事長	早川 純午	医師(常勤)	名南ふれあい病院副院長	新任
副理事長	菱川 一巳	非常勤		新任
専務理事	西本 義弘	(常勤)		新任
常任理事	小南 重人	医師(常勤)	名南病院副院長	新任
同	平松 博之	(常勤)	組織部長	新任
同	岩佐 明美	(常勤)	看護部長	新任
同	小出 治人	(常勤)	名南病院事務長	新任
同(非常勤)	尾鍋トシ子(新任)、木下大三郎(再)、清水嘉博(新任)			
高尾 恭作(新任)、田代 良夫(再)、中西 八郎(再)	水野 健二(再)			

その他、5名の新任理事、15名の理事が再任されました。
監事には、2名の退任に対して、平岡充典氏、山崎節敏氏が新任されました。
また、以下の点が承認されました。

- ①名誉副理事長について
今定時総会で退任され、相談役に就任される、立川美代治副理事長に過去の役員在職期間・実績から、名誉副理事長の称号を贈ります。
- ②75歳役員定年制(理事会規定)を実施します(今総会より、改選時75歳以上の場合、新任・再任はしない)。

第1号議案
入退社員承認の件

第41回定時総会現在(2007年5月20日)
社員総数 3,354名
詳細:第39回定時総会(2006年5月21日)以後、14名入社、122名(内死亡39名)退社



提案する
平松博之 専務理事

総会発言

発言討議では、次の8名の方から発言がありました。

- ①名南病院の今年度の医療活動の重点、今後の名南病院の役割について(救急外来などの問題含めて) 三宅隆史・名南病院長
- ②民医連の医師確保と養成、名南病院の臨床研修管理型取得について 早川純午・名南ふれあい病院副院長
- ③中川診療所 地域の要求にそった新たな友の会活動の展開 服部繁治・理事・中川健康友の会新会長
- ④中川診療所 職員の団結と民主的運営、共同組織とともに元気な診療所活動 山口達也・中川診療所所長
- ⑤名南診療所 共同組織と共同した健康づくり、在宅支援診療所としての1年 大森久紀・名南診療所所長
- ⑥全日本民医連共同組織委員として活動して、名南診療所地域の友の会活動 尾鍋トシ子理事・名南健康友の会副会長
- ⑦名南介護老人保健施設かたらいの里所長として4月赴任した小松健・所長
- ⑧名南病院地域・「ちぎり絵教室」と友の会活動について 山口トシエさん・名南健康友の会役員

役に立つ制度の話

名古屋市高齢者日常生活用具
給付事業について

名古屋市では、ひとり暮らしの方などへの支援として、日常生活用具の給付事業をおこなっています。これは、在宅の高齢者の日常生活の安全を図るため、電磁調理器等の日常生活用具を給付するものです。

問い合わせ、申し込み先

お住まいの区の福祉課福祉係まで
事業の内容等、その他詳しくは在宅総合センターきずなまでお問い合わせください。
TEL 692-4038

◆対象となる方

名古屋市の住民で、在宅(施設入所・入院は対象外)の65歳以上の方でひとり暮らしの方など。

◆給付品目

●火災警報機、自動消火器

- ・ねたきりの方
- ・ひとり暮らしの方で、災害時に直ちに脱出が困難な方

●電磁調理器

- ・ねたきりの方
- ・65歳以上の方のみの世帯の方(ひとり暮らしの方を含む)等

※電磁調理器についての注意点

- ・ペースメーカーに影響することがあります。
- ・使用電力が大きいため、場合によっては使用できないことがあります。

◆費用負担

世帯の生計中心者の所得に応じ、自己負担が必要な場合があります。



名南会
2007年法律相談

(初回相談のみ無料)

お問い合わせ・ご予約は
(052) 682-3211

※事前に電話予約が必要です。
※電話の際、名南会社員、名南、中川健康友の会員である旨、申し出てください。

●日時:毎月第1・3火曜日
PM5:00~7:00

7月 3日・17日
8月 7日・21日

●名古屋南部法律事務所
(熱田区神宮2丁目6-16南陽ビル)
担当弁護士に相談できます

